



- 1 これが蟻害の実態です！
- 2 **羅針盤** 船頭多くして船山に登る
- 3 ネットが教えてくれた
- 4 神社仏閣の美しさを取り戻す
- 5 躍進が誇る 事業の5本柱 ⑤
- 7 二戸一住宅を考える

### これが蟻害の実態です！



まずは**上の写真**をご覧ください。まさにシロアリの厄災を被った床材の被害状況です。

シロアリだけでなく腐朽菌によっても食害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。

もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

躍進の床下点検は、まず土台や束などの木材の状態をチェックします。点検で蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく、玄関にも羽蟻が発生しやすく見落としがちになりますので、注意深くチェックします**(5~6ページを参照)**。

まずは羽蟻の姿を発見したら、それを捕まえ保管し、すぐに躍進までご連絡ください。専門スタッフが適切な対応をいたします。ご連絡をお待ちいたしております！

**船頭多くして船山に登る**

笠井輝夫

(株)躍進代表取締役会長



羅針盤

**「決める人」が多すぎる**

組織が迷走する理由は、実は単純です。「決める人」が多すぎるからです。

人はそれぞれ正論を持っています。株主も、幹部も、現場も、取引先も、自分の立場から意見を言います。

しかし、全員が船頭、つまり指示役になれば、船という組織は川や海を前進するどころか、山へ登ってしまいます。これを日本のことわざで、「船頭多くして船山に登る」と言うのです。

**最後は1人が決める**

本当に強い組織とは、「みんなで考え、最後は1人が決める」組織です。

日本企業には、稟議や相談文化があります。知恵を集め、十分に議論し、最後は責任者が腹を決める。だから組織に一体感が生まれるのです。

**決めた人が責任を負う**

そして、最も大切なのは、決めた人が責任を負うことです。

田中角栄氏が大蔵大臣就任時に、初登庁で職員に向かって言った「できることはやる。できないことはやらない。しかし責任はすべて私が負う」などは、決めた人が責任を負う覚悟がピンピンと伝わってきます。

責任を負う覚悟のない指示は、人の心を動かしません。覚悟ある決断だけが、人を前進させます。

## 覚悟が組織を動かす

組織を動かすのは、肩書ではありません。最後は覚悟です。そして今の時代だからこそ、日本人が本来持っている「和としてまとめ牽引する力」、「責任を引き受ける精神」が、世界の中でますます大きな価値を持つのではないのでしょうか。

これらを裏付けるのは、やはり覚悟です。それを口にするのは非常に簡単ですが、本当の覚悟があれば、「船頭多くして船山に登る」という事態を避けることができ、間違いなく他人の心を動かします。何事にも大いなる覚悟を持って臨みましょう！

## ネットが教えてくれた

### 女性は男性よりよく動く

ネットで様々なサーチをしていると、偶然にも昔から疑問に思っていたことの答えが見つかったり、自分が長年確信していたことを裏付けてくれるデータに出会ったりします。

例えば“疑問篇”では、日本ではなぜか女性のほうが男性よりも平均寿命が長いものです。様々な理由の第1位に挙げられたのは「女性は歳をとっても男性よりよく動く」ことだそうです。やはり家事は女性の一生の仕事だからです。

その反面、男性は定年退職し完全なご隠居様になると、ほとんど動かなくなります。そのせいで脳が「君の生きる役目は終わった」と判断し、免疫力を低下させ様々な病気が誘発され、最終的に死に至らしめるというのです。筋トレなどしなくとも、ちょっとした家事手伝いで十分ですのでこまめによく動きましょう！健康寿命を長くするためです。

### やはり人の目が一番の抑止力

次に“確信篇”ですが、最近ではネットで人を募集し、空き巣や強盗をさせる闇バイトが頻発し、国民の防犯意識も高まっています。しかし防犯カメラ設置よりも一番効果的なのは、やはり人の目による監視です。

隣近所同士で不審者を見つけたら、「あなた、この辺りでは見かけないね。どういう人？」という声掛けが一番効果的だとネット上の調査で発表されていました。やはり思っていた通り、近所づきあいほど頼りになるものはないと確信したのです。

このように、こまめに動き目配り・気配り・心配りすることは、ビジネスマンに求められる所作にも通じますので、ぜひ実証実験してください！

## 神社仏閣の美しさを取り戻す



上の写真は、2025年1月17日に、埼玉県神社庁で実施された躍進が誇る木部再生技術『Air 鉋』の施工実績（施工前、施工後）です。左写真が木板表札、中写真が玄関天上、右写真が玄関引き扉です。もちろん汚れている方がビフォーで、きれいな方がアフターです。

『Air 鉋』は、ムクの現しの部分に関しては最適な復元技術です。神社様をお清めする際に、氏子様がボランティアで水や洗剤を用いて社殿などの清掃をしてくださっても、すすぎが甘いと残った洗剤が栄養分になり、カビやシミ、コケの元になってしまうからです。

しかし『Air 鉋』は、**水や洗剤を使わずに施工し神社仏閣の美しさを取り戻す**ことができるのです。

これは、空気と植物性粉体を対象物に噴射し汚れや劣化層、古くなった既存の塗膜を数ミクロン単位で削り取るなどを施し、美観の再生や木材の長寿命化を目的として開発された乾式工法です（特許第 6206898 号）。植物性粉体の種類や圧力を変化させることで「**払う**」「**削る**」「**剥ぐ**」「**粗す**」の4役を1台で行うことができます。

「**払う**」は、垢や汚れを刷毛のように優しく払うことができます。強弱は無段階に調整ができるため、繊細さを要する彫刻や重要文化財にも採用されています。「**削る**」は、木材の表面を数ミクロンから数センチまで削ることができます。劣化層やカビ・木材腐朽菌の除去、浮造り加工などの意匠性に対応できます。

また「**剥ぐ**」は、基材を痛めることなく既存の劣化塗膜を剥離できます。複雑な形状でも短時間できれいに剥離が可能です。「**粗す**」は、水性塗料による塗装の付着強度を高めるための、木材の表面を粗すなどの下地処理（足付け作業）が行えます。

詳細は、躍進のホームページをご覧ください ([https://yakushin.jp/air\\_kanna/](https://yakushin.jp/air_kanna/))。ご連絡をお待ちしております。

## 躍進が誇る 事業の5本柱 ⑤

笠井輝夫  
(株)躍進代表取締役会長

弊社の経営理念である「躍進5原則」は、自分を円の中心に取り巻く円環である家族、社員仲間、協力業者、仕入れ先、お客様地域社会の円環を指しますが、同じように躍進が誇る事業も5本の柱で成り立っております。それは、①木材保存と『Air 鮑』、②防水、③外壁洗浄・塗装、④リフォーム、⑤住まいの点検—の5つです。そして今回は最終回の第5回目として、住まいの点検をご案内いたします。

## 「早期発見・早期治療」を実現



上の写真は、住まいの点検業務の基本となる床下部分です。点検業務は、「住まう人の豊かな暮らしづくり」をテーマに、実に幅広い範囲を手掛けております。

具体的には、お引き渡しから2年目で建具の調整、クロス・外壁コーキング、排水管の臭い、床下チェック、5年目で雨どいのチェック、外壁のチェック、コーキングの切れ、外壁のヒビ、床下チェックなどを実施します。

また、通常の点検業務に加え、お客様から排水管洗浄、害虫駆除などを直接ご依頼いただくことや、同時に様々なご提案を可能な限りさせていただきます。さらに塗装と防水の10年点検も発生するため、点検業務の守備範囲は広がる一方です。

住まいの点検業務は、前述のように床下点検をはじめとする木材保存工事（防蟻工事）が基本となります。その次に、通常の点検業務に加えて排水管洗浄などを実施し、さらに新築の防蟻工事に至るまでを手掛けます。

まさに躍進が誇る事業の5本の柱のなかでも、躍進の創業理念にあるAR事業（アフター&リフォーム事業）そのものです。さらに点検後の様々なアフターサービスもご提案をしていますが、お客様にとって何が大切かを常に考え、その想いに寄り添って向き合っています。

これは、「地域のホームドクター」としての要素とも関係することです。まさに「お家の健康診断」そのもので、私たちが定期健診を受けているように、家も定期健診を受けることで修繕すべき箇所の「早期発見・早期治療」が実現するのです。

例えば蟻害でも、家の表面にシロアリが姿を現わしたらもう遅いのです。それ以前に蟻害の兆候を見つけ、適切な手を打つために点検業務には大きな意味があるのです。

「地域のホームドクター」の元となる躍進の経営理念は、「躍進5原則」です。自分を取り巻く家族、社員仲間、協力業者、仕入先、お客様地域社会の円環を構成する5要素です。特にお客様地域社会は、社会のすべての人が躍進のお客様になりうるという可能性に裏打ちされた感謝の心なのです。

## 点検業務が躍進の代名詞になる日も

ここで重要なのが、お客様とのコミュニケーションです。私たちは専門的な知識を駆使して作業に臨みますが、そうした専門知識を住宅に関して素人であるお客様でも分かるようにご説明することに腐心しています。安心と安全をご提供することが、信頼につながるコミュニケーションの重要な要素と心得ております。

そして、お客様から信頼を得られれば「家のことで何かあれば、まず躍進に相談してみよう」と、「地域のホームドクター」というかかりつけのお医者様のようになれるのです。

さらに「〇年前に見ていただいた□□さんにまたお願いしたい」とご指名を受けるような、まさに点検担当として“躍進の顔”になるような人材を育成しております。現在活躍している担当社員は、手前味噌になりますが専門知識・技能やコミュニケーション能力、礼儀正しさにおいても合格点をもらえる者ばかりに成長いたしました。

こうした人材を1人でも多く育て、点検業務が躍進の代名詞になる日も決して遠くないと確信しております。お住まいで気になる点を発見したら、まず躍進までご連絡ください！

二戸一住宅を考える 住宅コラム

工務店様やビルダー様の中には、デベロッパーとしても活躍なさっている企業様がたくさんいらっしゃいます。

特に最近流行っているのが1棟売りの投資型マンションです。つまりマンション1棟を“商品”として丸ごと売って、デベロッパーは引き続き管理会社として入居者の募集をはじめ、様々なメンテナンスを行うという商流です。

しかしこのスタイルも、公共交通機関が発達している東京の住宅密集地に限られたもので、地方では政令指定都市ですら東京のようなやり方ではうまくいかないようです。マンションが売れるのは駅前限定で、少しでも駅から離れると人気ガタ落ちになるからです。

では、地方のデベロッパー様は、周りを田畑に囲まれクルマが無ければ生活できないような場所でどのような事業展開をしているかと言えば、ずばり賃貸用二戸一(にこいち)住宅の建設及び販売です。

よく二世帯住宅と混同されがちですが、これは親世帯と子世帯が住むための個人住宅で、玄関が1つの完全同居型か、まったく別々の完全分離型などに分かれます。一方二戸一住宅は、一戸の戸建て住宅を二戸に壁で区切った建物形式であり、主にアパート、公営住宅、社宅などに用いられるスタイルです。もちろん玄関は完全分離型です。

しかしこれは、周りを田畑に囲まれクルマが無ければ生活できないような場所で最もコストパフォーマンスが良い賃貸住宅なのです。特に敷地が広いので、住宅密集地では実現しにくい駐車スペース確保が容易にできます。

しかし最大のメリットは、いわゆる“安普請(やすぶしん)”で済むところにあります。なぜなら個人の持ち家ではないため、住まう人は外観のデザインにこだわることなく、リーズナブルな乾式サイディングを用い、まるで倉庫のような外観でも十分に通用してしまうのです。

もしデベロッパーとしても活躍なさっている企業様に、農地転用の活用機会が訪れれば、二戸一住宅の採用をご検討ください！

<p><b>株式会社 躍進</b></p> <p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=http://www.yakushin.jp E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 不動産事業 株式会社 ヤクシンジャパン</p> <p>関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ</p>	<p>事業内容</p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>
---	---	--